

第 1 5 1 8 回 島 根 県 教 育 委 員 会 会 議 録

日時 平成 2 7 年 2 月 2 2 日

自 1 0 時 5 5 分

至 1 1 時 2 7 分

場所 教育委員室

I 議題の件名及び審議の結果

－開 会－

－非公開－

(議決事項)

第34号 平成27年度教育委員会事務局等職員（管理職）の定期人事異動（教育職員関連分）について（総務課・学校企画課）

第35号 平成27年度県立学校教育職員（管理職）の定期人事異動について（学校企画課）

第36号 平成27年度市町村立小中学校教育職員（管理職）の定期人事異動について（学校企画課）

————— 以上原案のとおり議決

(報告事項)

第79号 平成26年度2月補正予算案の概要について（総務課）

————— 以上原案のとおり了承

II 出席及び欠席委員

- 1 出席委員【全員全議題出席】
仲佐委員長 岡部委員 原委員 広江委員 森委員 藤原教育長

- 2 欠席委員
なし

- 3 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第17条第2項の規定に基づく出席者
藤原教育長

- 4 島根県教育委員会会議規則第14条の規定に基づく出席者

吉城教育監	⋮	全議題
細田教育次長	⋮	全議題
高宮総務課長	⋮	全議題
高橋学校企画課長	⋮	議決第34号～第36号
木原学校企画課企画幹	⋮	議決第34号～第36号
大場学校企画課企画幹	⋮	議決第34号～第36号
和田学校企画課企画人事主事	⋮	議決第34号～第36号

- 5 島根県教育委員会会議規則の規定に基づく書記

森脇総務課課長代理	⋮	全議題
小村総務課人事法令グループリーダー	⋮	全議題
小林総務課主任	⋮	全議題

Ⅲ 審議、討論の内容

仲佐委員長：開会宣言 10時55分

公 開	議決事項	0 件
	承認事項	0 件
	協議事項	0 件
	報告事項	0 件
	その他事項	0 件
非公開	議決事項	3 件
	承認事項	0 件
	協議事項	0 件
	報告事項	1 件
	その他事項	0 件
署名委員	森委員	

仲佐委員長：非公開宣言

－非公開－

(議決事項)

第34号 平成27年度教育委員会事務局等職員(管理職)の定期人事異動(教育職員関連分)について(総務課・学校企画課)

――原案のとおり議決

第35号 平成27年度県立学校教育職員(管理職)の定期人事異動について(学校企画課)

――原案のとおり議決

第36号 平成27年度市町村立小中学校教育職員(管理職)の定期人事異動について(学校企画課)

――原案のとおり議決

(報告事項)

第79号 平成26年度2月補正予算案の概要について(総務課)

○高宮総務課長 報告第79号平成26年度2月補正予算案の概要についてご報告する。

4の1をご覧いただきたい。前回の教育委員会会議では、2月16日に開会をした県議会の初日に提案された平成27年度の当初予算案と平成26年度2月補正予算のうち人口減少対策についてご説明をした。本日も説明をするのは、県議会の中日である2月27日に提案をされるもので、これは毎年行っているものであるが、年度末の事業の精算を見込んだ増減である。精算であるので、減額が基本であり、合計で約6億円弱の減額となっている。内訳は、事業費が6億2千3百万円余の減額、給与費が2千8百万円余の増額となっている。給与費については、職員の給与のうち、時間外勤務手当などの諸手当については、年度末の精算で増減が出てきて、今年度の場合は若干の増額となったということである。

4の2の課別、主な増減の内容であるが、総務課で時間外勤務手当などを中心にして給与費が6千万円程度の増額となっている。その他は、基本的にはハード事業や人件費等の精算減がほとんどであるが、増額の要求をしているのは保健体育課で1億6千6百万円余の増額である。内訳としては、浜田市にある石見武道館において天井落下防止工事、耐震対策であるが、それと空調改修工事を1億7千万円余をかけて行うために増額になっている。増額した工事についても年度内の執行は、非常に難しいので、5番の繰越明許費のところだが、今年度予算で計上したが、工期の関係等で年度内に事業が完了しないものについては、今年度の予算を繰り越して翌年度にまたがって執行するというものが、教育財産の維持管理費から以下7項目あるということである。このうち上から5つ目の明日のしまねを担う高校生キャリア教育推進事業費については、県議会の初日に上程された2月補正のうち人口減少対策分であり、地元の企業と一緒に、キャリア教育を推し進めて島根県に定住してくれる高校の卒業生を増やそうという事業であるが、県議会の議決から年度末までの期間が非常

に短いので、全額を繰り越しして翌年度に執行するものである。4番の債務負担行為だが、工事の内容に変更はないが、工事の事業量に年度間の変動があり、一部将来的に行う工事の年度割を変更するものである。

この議案については、2月26日に議会へ説明するので、それまでは部外秘ということでお願いする。

○岡部委員 今回の補正額についてだが、過去、各年度、年度での減額補正は概ね今回のような数字で推移しているのか。

○高宮総務課長 概ねそのようなご理解で良いと思う。人件費については、年によって予定外に早期退職者の方が増えたりすると、退職手当が増える。例えば10名増えると、1名当たり2千万円、2千5百万円としても、すぐに2億、3億という額になるが、今年度はそういったことはなかったの、人件費は退職者の数で数億円動くことはあるが、全体として6億という金額は、例年の金額だと思う。県全体としても年度末のところで総予算が5千億円強あるが、一般財源ベースで50億円程度となるので、1%前後のところは結果として予算の不要が出る。教育委員会の予算も全体で880億円で、それに対する6億円なので1%弱ということで、県全体と比較しても大きな減額ではない。

――原案のとおり了承

仲佐委員長：閉会宣言 11時27分